

Gender: Male  
Age: 32-34  
User ID: Tom

Gender: Female  
Age: 29-30  
User ID: Jennifer



# 組み込み型コンピュータ ビジョンとAI機能で日常 生活を改善

Pitch: -3°

**Driver Attentive**  
Eye openness: 95%  
Blinks per minute: 16  
Gaze vector: 35°, 10°  
Pupil dilation: 35%

Roll: 3°

Yaw: 15°

# 周辺機器にスマートなビジョンを提供します

Eyesightは、エッジベースのコンピュータビジョンとAI機能による検知ソリューションで周辺環境を捉え、認識し、反応できるようにすることで、車内や自宅での日常体験を向上させます。

Eyesightのコンピュータビジョンソリューションは組み込み型で、デバイスがリアルタイムで素早く処理するよう最適化されています。強力なx86プロセッサから効率的な既製のARMプロセッサまで、多くのシステム要件を必要とせず、高性能なソリューションを提供します。Eyesightのソリューションは、画像を保管しない、記録しない、デバイスから送信しないなど、プライバシーを完全に守り、完全に安全な個人体験を実現します。

## 機能



### 動作認識&ドライバーモニタリング

運転者の頭と体の動きを監視し、車内の安全装置を起動させます。

頭の位置や向いている方向、視線、視線ベクトル、虹彩、瞼、瞬目率、瞳孔の拡張、動作(煙草を吸う、携帯を持つなど)をトラッキングする機能があります。



### ユーザー意識&分析

リアルタイムの物体検出と画面に注意を払った際に得られるデータにより、ユーザーの貴重な分析結果とコンテンツのパersonライゼーションを提供します。

当機能は、乗客数、年齢、性別、顔、注意力を検知します。



### タッチフリージェスチャーコントロール

市場をリードするジェスチャー認識技術は、様々なインターフェースで触らなくても自然に操作できます。

ジェスチャー機能には、フィンガートラッキング、パームトラッキング、手を振る、静かにする(消音)があります。

## オファー

### ソフトウェア

Eyesightの様々なソフトウェアソリューションは、標準的なCMOSセンサや赤外線(IR)センサと簡単に統合でき、車、自宅、消費者向けの家電製品にコンピュータビジョンによる検知機能を提供します。

Eyesightの車内環境用コンピュータビジョンソフトウェアは、顧客の感知機器と共に活用することで、運転者や乗客の乗車体験を向上させます。統合プロセスは簡単で、ドライバーセンスやキャビンセンス機能を有効にします。

当SDKは、IoTやスマートホーム環境において、簡単に利用できるAPIでコンピュータビジョンのアルゴリズムライブラリを意のままに操作します。Eyesightのソフトウェアは、既存のハードウェアに組み込み、様々な既製のセンサで作動するよう設計されています。

### ソフトウェア + ハードウェア

Eyesightのソリューションバンドルは車内環境にて利用でき、独自に開発したコンピュータビジョンソフトウェアとカスタムデザインの車用センサをペアリングさせます。このソリューションは、Eyesightのドライバーセンスソリューションで利用でき、IRセンサとソフトウェアが含まれています。

### フリート用のアフターマーケット

Eyesightのドライバーモニタリングシステムは、フリート用のアフターマーケットソリューションとしても提供されています。これには、運転手を監視する機能や動作の検知機能(煙草を吸う、携帯を持つ、シートベルトを締めるなど)があります。

# 市場

## 自動車産業



Eyesightのキャビン内検知ソリューションは、コンピュータビジョンとAI機能を利用し、運転者や乗客の安全性や乗車体験を向上させます。Eyesightは、ドライバーセンスおよびキャビンセンスという、二つの主なキャビン内ソリューションを提供します。

### ドライバーセンス

Eyesightのドライバーセンスは、注意力・眠気を検知するドライバーモニタリングおよび運転者識別という、運転者に重点が置かれた二つの検知ソリューションを提供します。

#### ドライバーモニタリング

ドライバーセンスは、運転者の状態をリアルタイムで識別するドライバーモニタリングシステム(DMS)を提供します。当ソリューションは、独自に開発した高度なコンピュータビジョンアルゴリズムを利用して、頭の位置、視線ベクトル、瞬目率、瞳孔の拡張など、運転者の視覚特性をトラッキングします。この情報は、眠気や不注意な状態を検知した際に命を救うことができるアラートの通知に利用できます。

#### 運転者識別

ドライバーセンスは、運転者の年齢や性別、ならびに数多くの登録済み運転者を識別する機能を提供します。これは、シート、ミラー、最近行った場所、メディアコンテンツ、エアコン設定の自動調整など、キャビン内でパーソナライズされた乗車体験を実現します。

### キャビンセンス

キャビンセンスは、乗客認識、チャイルドシート検知、姿勢分析、物体検出など、車内環境を監視します。この機能では、乗客の位置に基づきエアバッグの展開方法を調整する、あるいはシートベルトが正しく着用されていない場合に警告を発するなど、安全システムをリアルタイムに最適化できます。また画像データは、年齢、性別、識別されたユーザーに基づき車内環境をパーソナライズするため、車内のエンターテインメントシステムをマッピングできます。キャビンセンスがあれば、OEM企業、ライドシェア企業、フリート企業もまた、乗客の状態や行動に関する貴重な分析データを利用できます。



## スマートホーム&IoT

Eyesightは、ホーム機器や視聴者・オーディエンスの測定分析に高度な検知ソリューションを提供します。当テクノロジーは、コンピュータビジョンとAI機能を利用して、ユーザーやユーザーの動作に反応する知的対話システムを提供します。Eyesightには、ビューアーセンスとデバイスセンスという二つの主なホームソリューションがあります。

### デバイスセンス

消費者向けの各種家電製品に簡単に統合できるようにデザインされたデバイスセンスは、コンピュータビジョンに基づくパーソナライゼーションおよびインタラクション機能を追加することで、既存のインターフェースを強化します。これはユーザープロフィールの自動選択や、ユーザーの注意がそれたり、部屋から出ていった時のメディアの中断、そしてタッチフリージェスチャーコントロールなど、知的対話システムを有効にします。

### ビューアーセンス

ビューアーセンスは、顧客にオーディエンスをリアルタイムに監視する機能や、視聴者の分析データを提供します。さらにこのテクノロジーは、新規やリピーターの視聴者を識別することで、リアルタイムによるコンテンツのパーソナライゼーションや広告のターゲティングを可能にします。ビューアーセンスは、現在の視聴者数、実際の注意力、年齢、性別を検知します。これらの機能は、事前に登録されたユーザープロフィールの表示、年齢に適したコンテンツのフィルタリング、おすすめコンテンツの提供、広告のターゲティングなど、パーソナライズされた使用体験を向上させます。

## EYESIGHTを利用する理由は？

- 10年以上にわたりEyesightは、市場をリードするエッジベースのコンピュータビジョンソリューションを調査し、開発してきました。これらの検知ソリューションは、世界中の何百万機ものデバイスに見つかります。
- Eyesightのテクノロジーは完全な組み込み型で、デバイスがリアルタイムで素早く処理するよう最適化されています。当テクノロジーは、多くのシステム要件を必要とせず高いパフォーマンスを発揮し、既存のデバイス・車両のハードウェアで利用できる場合があります。
- Eyesightは20種類以上の特許を取得済みで、その他数多くの特許を出願中です。当社は、スマートな検知ソリューションが何を認識し、そして何ができるのか、限界を常に超えようとしています。
- 当社の検知ソリューションは、プライバシーを完全に守り、そして安全です。このソリューションはリアルタイムでビデオを分析し、メタデータへと変換し、直ちに破棄します。画像が保管、記録、デバイスから送信されることは決してありません。



Eyesightは、自動車産業やIoTスマートホーム産業をターゲットにした、エッジベースのコンピュータビジョンとAIソリューションを開発しています。当テクノロジーは、ユーザーの存在や動作に反応する知的対話システムを利用して、車内や自宅、そして消費者向けの家電製品における日常体験を向上させます。

当社は、自動車産業では車内検知ソリューションに重点を置き、ドライバーモニタリングシステム、運転者識別システム、乗客監視システムを提供します。

Eyesightは、IoTやスマートホーム空間ではユーザーが意識する機能、オーディエンスの測定、視聴者分析、そしてタッチフリージェスチャーコントロールを提供します。

Eyesightが独自に開発したテクノロジーは完全に組み込み型で、素早く処理するよう最適化されています。そして20種類以上の取得済み、および出願中の特許によってサポートされています。

Eyesightのテクノロジーを駆使したデバイスは、ユーザーを捉えて認識することで、ユーザー体験の向上を目指すための世界を切り開いていきます。